

様式 2

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称 平成29年度大分県スポーツ推進審議会
- 2 開催日時 平成30年3月16日（金）10時30分～12時00分
- 3 開催場所 大分センチュリーホテル2階 桜の間
- 4 出席者（委員） 櫻井委員、蓑田委員、榎委員、芝原委員、石橋委員、牧委員、土谷委員、小井手委員、横山委員、松本委員、銅城委員、高司委員、安部委員、丸山委員、安永委員、古城委員（16名／20名）
（欠席） 岩尾委員、笹原委員、平川委員、谷口委員
（事務局） 工藤教育長、木津教育次長、井上体育保健課長、山上屋内スポーツ施設建設推進室長、加藤体育・スポーツ振興監、工藤主幹、吉野主幹、植木主幹、野中主幹、於久主幹、安心院指導主事、武石指導主事、障害福祉課光延副主幹、高齢者福祉課土師課長補佐、芸術文化スポーツ振興課櫻井主幹
（陪席） 県体育協会佐保事務局長
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 0名（マスコミ 1社）
- 7 議題
第1号議案 会長・副会長の選出について
第2号議案 平成30年度体育・スポーツに関する補助金・負担金（案）について
- 8 報告事項
（1）大分県スポーツ推進条例について
（2）県立屋内スポーツ施設建設の進捗状況について
- 9 協議事項
大分県スポーツ推進計画改訂版の進捗状況について
- 10 その他
- 11 主な内容
議事の概要、委員の主な質問・意見は次のとおり。

議題（1）会長・副会長の選出について

（事務局）改選期のため、新会長、新副会長を委員の互選により選出する。

（委員）質問・意見なし

（事務局）会長に松本委員、副会長には、古城委員、谷口委員を事務局案として提案する。

（委員）承認

（議長）それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

議題（2）平成30年度体育・スポーツに関する補助金・負担金（案）について

(事務局) 平成30年度当初予算については、県議会での議決をもって成立することを前提に、生涯スポーツ関係、競技スポーツ関係、学校体育関係の分野ごとに説明する。生涯スポーツ関係予算は、前年度比102万5千円の減額、競技スポーツ関係予算は、前年度比2千585万9千円の増額、学校関係予算は、前年度比3千164万8千円の増額となる。今後も事業の効果的な実施に努める。

(議長) 質問・意見は。なければ承認いただきたい。

(委員) 承認

報告(1) 大分県スポーツ推進条例について

(事務局) 県民がスポーツに親しむことのできる環境づくり・競技力の向上・スポーツによる地域の活性化等、社会全体でスポーツを推進していくため制定された。第1回県議会において、議員提案により審議、議決、公布・施行された。本条例は、県がすでに取組を推進していることを県議会が後押しする条例と認識している。

(議長) 今の説明にたいして質問・意見は。

(委員) 質問・意見なし

報告(2) 県立屋内スポーツ施設の進捗状況について

(事務局) まずは、この施設は武道館の機能・総合体育館の機能等を備える施設として建設中である。施設建設事業の進捗状況について、建設関係・広報・啓発・施設運営・条例等改正関係について説明する。建設関係については、スロープや障がい者駐車場など設計にも着手している。また、魅力発信のため、紹介展・スポーツ体験・ワークショップイベントを実施している。施設運営関係については、行革推進委員会などを経て、大分スポーツ公園を一体とした指定管理委託とする方針を決定した。県営体育施設及び管理に関する条例等の改正に向けた検討も実施している。利用者の利便性向上のためのアクセス対策会議を設置し、検討を始めたところである。平成31年4月の竣工、5月から共用開始予定である。

(議長) 今の説明に対して質問・意見は。

(委員) 質問・意見なし

協議 大分県スポーツ推進計画改訂版の進捗状況について

(議長) 全体の説明を事務局から

(事務局)

(1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進について

小5・中2の全国体力調査における総合評価C以上の割合を指標としている。平成29年度の調査においては、全ての項目において目標値を上回っている。体育専科教員や、中学校体力向上推進教員などが中心となり各地域で組織的な体力向上を行った成果が表れている。

(2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進

成人の週1回以上のスポーツ実施率を指標としている。平成29年度の実施率は、48.5%となっている。20代から40代の実施率が低く、50代からは上昇傾向にある。

(3) 高齢期におけるスポーツの推進

目標指数は、ねんりんピックの参加者を平成32年までに5900人とするところである。本年度は5560名の参加を得た。また、介護予防という観点から、外に出て活動する仕掛けを高齢者福祉課でおこなっている。

(4) 障がい者スポーツの推進

大分県障がい者スポーツ大会の参加者数を目標値としている・平成28年度は2713名の参加者があり、あと2年で延べ参加人数を5900名とすると目標達成となる。

(5) 競技力向上対策の推進

高校生の全国大会における入賞者数を目標値としている。今年度は113であるが、選手の入替わりがあるため、必ず浮き沈みがある。安定して100を超えることが大きな目標である。県体育協会と綿密に連携して取組んでいきたい。

(6) 総合型クラブの推進

平成26年度の会員数16090人が基準値。今年度は17089人である。少しずつ増えているが、ここ数年は伸び悩んでいる。貯筋運動や、ウォーキングなど魅力あるイベントや教室の実施などを通して会員増に取組む。新規事業では、商業施設等で民間と連携し。総合型クラブの啓発活動等を行っていく。

(7) 「みる」「ささえる」スポーツイベントの推進

東京オリンピック・パラリンピックなどの事前キャンプや国際大会の誘致に取組んでいる。これまでに、7人制ラグビーやフェンシングなどが大分市内でキャンプを行っている。また、各国選手たちとの交流を深める機会も提供している。

(8) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備

目標値は日本体育協会が公認している指導者の数である。平成29年度10月現在の指導者は2022人。1万人あたりに換算すると17.6人である。目標値の16.3人は達成しているものの、今後も大分県体育協会と連携しながら指導者の育成に取組んでいきたい。

(議長) 説明・意見

(委員)

幼児・少年期の体力向上についてはすばらしい結果が出ているが、女子のスポーツ実施については課題があるのではないかと。

高齢期におけるスポーツの推進については、ねりんピックの参加人数となっているが、目標値としてはふさわしくない。地域で活動している団体についても考慮にいれるべき。

総合型クラブと部活動の関係をどうするのか。国は委ねる方向で考えているようだが、本県において可能なのか。

(事務局)

女子については、運動の好き・嫌いで2極化傾向にある。中・高において「ヨガ」などを中心とした取組みを実施しているが、それでは遅いという声もある。男女による運動志向の違いに対するアプローチが必要になってくる。

(事務局)

高齢者におけるスポーツ推進の指標については、地域の活動も含めて、今後検討が必要である。

(委員)

地域で活動している団体の育成をしながら、地域の活動、スポーツを実践するような方策を展開してほしい。

(事務局)

総合型クラブと部活動の関わりについては、今後どんな種目で、誰にお願いしていくのかが一番の課題になっていく。今後、事業が拡大していけば、総合型クラブの方々と連携していくべきと考えている。総合型クラブとそれぞれのニーズ・課題を探っていきながら連携を図っていきたい。

(委員)

部活動の学校教育における価値というのは非常に高い。働き方改革だけの面で、学校の外に出してしまうということについての見解は。

(事務局)

部活動の意義については、私たちも感じている。ガイドラインのこともあるので、今後しっかり検討していきたい。

(委員)

総合型クラブでも、いきなり任せろというつもりはない。下準備が必要。

(事務局)

総合型クラブの自立に関しては、魅力あるクラブづくりを通して会員数の増加を図っていく。地域の課題の把握や住民のニーズを把握することが必要である。県教育委員会としてもしっかりサポートしていく。

(委員)

部活動については、多面的な検討をお願いする。障がい者スポーツに対しても競技レベルの高さをPRして、啓発していくことが必要ではないか。

(委員)

青・壮年期の方々にとって「おおいた歩得」は非常に良いツールである。4月からの本格実施に向け、アプリのサービス面を充実させれば県民の方々は喜ぶのではないか。

12 会議の資料一覧

- (1) 平成29年度大分県スポーツ推進審議会資料
- (2) 別冊資料1 大分県スポーツ推進条例
- (3) 別冊資料2 スポーツ推進計画改訂版の進捗状況について(抜粋)
- (4) 別添資料3 スポーツ推進計画改訂版における具体的な取組について
- (5) 別添資料4 スポーツ推進計画改訂版の目標数値説明資料
- (6) 大分県スポーツ推進計画改訂版(冊子)
- (7) 大分県立屋内スポーツ施設概要(リーフレット)
- (8) ラグビーチラシ

13 問い合わせ先

担当課 大分県教育庁体育保健課
電話番号 097-506-5645